

# 一般社団法人日本母性看護学会

## 2020年度 社員総会 資料

### <報告事項>

- 報告事項 1 2019年度事業報告
- 報告事項 2 2020年度事業計画案
- 報告事項 3 2020年度予算案
- 報告事項 4 名誉会員について
- 報告事項 5 第24回学術集会会長について

### <決議事項>

- 第1号議案 2019年度収支決算・監査報告
- 第2号議案 定款変更について

## 報告事項 1 2019 年度事業報告

### 1. 総務委員会／総務

- 1) 日本母性看護学会総会の開催
  - ・2019 年度一般社団法人日本母性看護学会総会を 2019 年 6 月 15 日(土)に開催した。
- 2) 理事会の開催
  - ・通常理事会 3 回（対面 2 回、Web 1 回）、書面理事会を 6 回開催した。
- 3) 会員管理
  - ・会員数は 2020 年 3 月末で 735 名、2019 年度入会者 95 名、退会者 89 名だった。
- 4) 学会に関連する事務業務
  - ・看護系学会等社会保険連合、日本看護系学会協議会、助産師団体連絡会等、関連団体への対応を行った。
- 5) 定款、規程、細則等の整備
  - ・名誉会員候補者を選出し、称号授与への手続きを進めた。
- 6) 2020 年度事業計画（案）の作成

### 2. 総務委員会／会計

- 1) 会費管理、入金・支出管理
  - ・事務局より会費入金状況の確認・徴収の報告を受けた。
  - ・支出について、振込依頼を承認し適正な支出であることを確認した。
- 2) 2019 年度決算
  - ・事務局に委託し、法人に必要な会計書類を作成し、決算書を作成した。
  - ・決算書については税理士、および監事の監査を受けた。
- 3) 年会費の検討
  - ・年会費の増額について検討し、継続審議とした。
- 4) 2020 年度予算（案）作成
  - ・各分掌理事の計画を取りまとめ、予算案を作成した。

### 3. 総務委員会／災害対応部会

2019 年においても、会員に向けて様々な災害に対し、理事長名でお見舞いメールを送らせていただいた。

今後の活動内容については、引き続き検討予定である。

### 4. 総務委員会／将来構想部会

なし

## 5. 編集委員会

- 1) 機関誌の編集・発刊
  - ・日本母性看護学会誌第 20 巻 1 号 2020 年 1 月 31 日に、第 20 巻第 2 号を 2020 年 3 月 24 日に発刊した。
- 2) 編集委員会の開催
  - ・編集委員会を 3 回開催した。(メール審議 2 回含む)
- 3) 査読システムおよび電子ジャーナル使用における課題の検討
  - ・査読システム使用マニュアルなどの修正を行った。
- 4) 投稿規程等の検討
  - ・電子ジャーナルの増加などの実情に合わせて、投稿規程の修正を行った。
  - ・著作権譲渡同意書および掲載証明書を作成した。
- 5) 2020 年度事業計画(案)の作成

## 6. 広報委員会

- 1) 公式ホームページの更新
  - ・ホームページを合計 15 回更新した。
  - ・国内の関連学会等に随時リンクを依頼し、リンクを拡大→2019 年度は十分実施できていない
  - ・ホームページ用の新たな写真の募集→数枚のみ提供あり
- 2) NL20 号の企画・編集・発行の実施
  - ・前原澄子先生の追悼記事の特集、学術雑誌オンライン化の周知、各委員会報告、学術集会報告と次回案内など
- 3) 会員獲得に関する業務
  - ・学会案内リーフレットを関連学会、関連教育機関で配布した。→2019 年度は実施できていない
- 4) 第 21 回学術集会におけるナースングサイエンスカフェの実施
  - ・上記に伴うナースングサイエンスカフェの企画・準備
  - ・広島県の高校に案内を配布した
- 5) 2020 年度事業計画(案)の作成

## 7. 研究・学術支援委員会／研究促進部会

- 1) 研究助成に関する情報提供
  - ・ホームページを通して、会員が申請できる助成金等の情報を提供した(年 2 回情報更新の必要の有無を確認)。
- 2) 日本母性看護学会研究助成
  - ・2018 年度研究助成を受けた研究者が提出した会計書類を検査し、適正使用を確認し

た。

- ・ 2020 年度研究助成の応募要領の作成ならびに公募を実施した。
  - ・ 本制度を会員に周知するため、応募要領を会員に配布するとともに、ホームページに公募の案内を掲載した。
  - ・ 2020 年度研究助成選考委員会を発足し、1 件の応募があったが、研究計画内容確認中に取り下げの申し出があった。(2020 年度は研究助成の対象者はなかった。)
- 3) 2020 年度事業計画 (案) を作成した。

## 8. 研究・学術支援委員会／学術支援部会

- 1) 学術集会の企画・運営支援
  - ・ 第 21 回および第 22 回の学術集会の企画・運営支援を行った。
- 2) セミナーの企画支援
  - ・ 2020 年 3 月 14 日開催予定であった第 15 回日本母性看護学会セミナーは新型コロナウイルスの感染拡大のため中止となった。
- 3) 学術論文賞の選考
  - ・ 理事による推薦、選考委員会による審査を経て、第 13 回学術論文賞を 1 論文選考した。
  - 表彰は第 21 回学術集会で行った。

## 9. 生涯学習支援委員会／CTG セミナー部会

CTG 1 St 及び 2nd セミナーを 2019 年 8 月開催予定としていたが講師との日程調整がつかず、2020 年 2 月に変更した。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により中止とした。

## 10. 生涯学習支援委員会／GDM セミナー部会

- 1) 学術集会における GDM セミナーの開催：2019 年 6 月 14 日 (金) 第 21 回日本母性看護学会学術集会において、CLOCMiP®必須研修 (フィジカルアセスメント：代謝) に対応する「周産期の糖代謝異常の考え方と対応」の GDM セミナー (90 分) を開催した。
- 2) 「糖代謝異常妊産褥婦への看護支援セミナー」の開催：2020 年 1 月 25 日 (土)・26 日 (日) に、東北大学大学院医学系研究科保健学科 A 棟大講義室を会場にセミナーを開催した。2 日間のうち産婦人科の安日一郎氏の講義 (90 分) について、CLOCMiP® 必須研修 (フィジカルアセスメント：代謝) に相当する研修とした。参加者は、会員 4、非会員 16、ラダーのみ非会員 2 の計 22 名であった。
- 3) GDM セミナー担当者の組織化：母性看護専門看護師を中心に担当者について交渉し、3 名の母性看護 CNS を担当としたが、残り 1 名については未定となっている。また打合せ開催が難しく、新規提案等は次年度の課題となっている。

## 11. 看護政策検討委員会

### 1) 委員会の開催

第1回委員会を10月27日(日)10:00~12:00ルノール貸会議室において、第2回委員会を2020年2月9日(日)11:00~14:00ルノール貸会議室において開催した。

### 2) 診療報酬改定要望書の提案に関わる活動

「在宅妊娠糖尿病患者指導管理料」に産後1回の助産師による指導追加に焦点化し、委員会会議およびメール審議、および日本糖尿病・妊娠学会理事、日本助産学会担当者と協力して、要望書を提出した。その結果、令和2年4月に、助産師が行うとは限定されなかったが、産後1回の指導料を獲得できた。

また、2022年度診療報酬改定に向けた要望事項に関する情報収集(新規提案事項に関する探索)を継続して行った。

### 3) 看護系学会等社会保険連合(看保連)に関わる活動

看保連委員としての出席可能な会に参加した。

### 4) 令和元年度事業報告(案)および令和2年度事業計画(案)を作成した。

## 12. 高度実践看護師育成支援委員会

### 1) 委員会の開催

委員会2回開催、関東部会1回開催

### 2) 母性看護専門看護師の広報・支援活動

母性看護専門看護師の輩出数の増加、教育機関減少防止への対応策としての活動

(1) 第21回日本母性看護学会学術集会(2019年6月、広島)において、母性看護専門看護師実践報告会を開催した。

(2) 看護系学会で「母性看護専門看護師を目指しませんか?」のチラシ送付を行った。

(3) 2019年1月~12月「助産雑誌」(医学書院)に母性看護CNSの実践報告、委員会調査報告について連載記事を掲載した。

(4) CNS 広報チラシ(母性看護専門看護師を目指しませんか?)を全国の総合母子周産期医療センターに郵送するとともに、関連学会(母性看護学会、看護科学学会、母性衛生学会)の広報デスクでチラシを設置した。

(5) HP 母性看護CNS ページ作成

### 3) 母性看護CNSに関する情報交換・課題の共有

(1) 日本看護協会を訪問(2019.10.17)し、母性看護CNSの課題を共有し、看護協会の協力を要請した。

(2) CNSとの協働

関西地区事例検討会(11/16)、関東地区事例検討会(11/8)にて、当委員会の趣旨と母性看護CNSの協働について説明を行った。

4) CNS 活動調査

(1) CNS 活動調査を予定していたが、日本看護協会が 12 月に NP、CNS を対象に同様の目的で調査を行っていたため、調査は行わないこととした。

(2) 現象学による母性看護 CNS の実践分析

母性看護 CNS 3 ～ 4 名対象の面談調査(研究協力者:大阪大学村上先生)のもと、で実施した。(助産雑誌 5・6・7・8 月号に連載)

5) 2020 年度の事業計画 (案) 予算案の作成

## 報告事項 2 2020 年度事業計画案

### 1. 総務委員会／総務

- 1) 2020 年度一般社団法人日本母性看護学会総会の開催
- 2) 理事会の開催 通常理事会 3 回  
書面理事会 適宜開催
- 3) 会員管理・会員サービス・学会案内（外部委託）
- 4) 学会に関連する事務業務  
委託業者との調整、学会に関連する書類への対応、他団体への対応
- 5) 定款、規程、細則等の整備
- 6) 2021 年度事業計画（案）作成

### 2. 総務委員会／会計

- 1) 会費管理 入金・支出管理
- 2) 2020 年度決算
- 3) 2021 年度予算案の作成
- 4) 年会費の検討
- 5) 会計申し合わせ、様式の整備
- 6) 利益相反規程の検討
- 7) 2021 年度事業計画（案）作成

### 3. 総務委員会／災害対応部会

- 1) 本学会における災害支援の方針作り
- 2) 災害支援に関する他学会との連携
- 3) 2021 年度事業計画（案）作成

### 4. 総務委員会／将来構想部会

- 1) 学会活動の方向性の検討
- 2) 他学会との協働に関する検討
- 3) 会議の開催方法の検討

### 5. 総務委員会／選挙管理運営部会

- 1) 役員選挙の管理運営

## 6. 編集委員会

- 1) 投稿査読新システムおよび電子ジャーナルシステムの見直し
- 2) 日本母性看護学会誌の編集・発刊（年2回）  
第21巻第1号2号発刊（2020年9月、2021年3月発刊予定）
- 3) 編集委員会：年1回開催
- 4) 2021年度事業計画（案）作成

## 7. 広報委員会

会員内外に向けた広報活動

- 1) ホームページの充実、発信する情報の充実
- 2) ニュースレターによる情報の発信  
ニュースレター21号の企画・編集・発行
- 3) 効果的な広報活動の検討
- 4) 第22回日本母性看護学会学術集会ナースングサイエンスカフェにおける広報
- 5) 2021年度事業計画（案）作成

## 8. 研究・学術支援委員会／研究促進部会

- 1) 研究助成に関する情報提供  
年2回、学会ホームページを通じて会員が申請できる助成金などの情報の更新
- 2) 日本母性看護学会研究助成
  - (1) 2019年度研究助成会計監査
  - (2) 2020年度研究助成の再公募
  - (3) 2021年度研究助成の公募
  - (4) 応募要領の作成・公募の実施
  - (5) 制度について会員への広報  
(応募要領の会員への配布・ニュースレターへの案内掲載)
- 3) 2021年度事業計画（案）作成

## 9. 研究・学術支援委員会／学術支援部会

- 1) 学術集会の企画・運営支援  
第22回学術集会長：島袋香子氏（北里大学）  
第23回学術集会長：石井邦子氏（千葉県立保健医療大学）
- 2) セミナーの企画支援  
第15回セミナーの開催
- 3) 第14回学術論文賞の選考
- 4) 2021年度事業計画（案）作成



#### 10. 生涯学習支援委員会／ CTG セミナー部会

- 1) CTG セミナーの検討（2020年度は開催を見送る）
- 2) 2021年度事業計画（案）作成

#### 11. 生涯学習支援委員会／ GDM セミナー部会

- 1) 糖代謝異常妊産褥婦を支援する看護セミナーの開催
- 2) セミナー開催に向けての検討（担当者会議、大阪開催）

#### 12. 看護政策検討委員会

- 1) 看護系学会等社会保険連合委員としての活動（参加交通費等）
- 2) 委員会（3回、学術集会時、10月頃、2月頃）（在宅妊娠糖尿病患者指導管理料に関する検討、診療報酬に関わる長期的な情報収集、先駆的研究活動の検討等）
- 3) 当該年度活動報告・次年度活動計画

#### 13. 高度実践看護師育成支援委員会

- 1) 母性看護 CNS の広報
  - (1) 母性看護 CNS の役割認知の拡大（雑誌・出版物への寄稿）
  - (2) HP 母性看護 CNS ページの充実
  - (3) 学術集会での広報
  - (4) 総合周産期母子医療センターへの広報
- 2) 母性看護 CNS の活動支援
  - (1) ネットワーク構築（母性看護 CNS 間、臨床—教育間）
  - (2) 実践・研究活動支援
  - (3) 関係団体との調整
- 3) 研究
  - (1) 母性看護 CNS の活動分析
- 4) 2021年度事業計画（案）作成

報告事項3 2020年度予算案

単位(円)

科 目	2019年度予算	2019年度決算	2020年度予算(案)
<b>収入の部</b>			
<b>会費収入</b>	<b>6,380,000</b>	<b>6,220,000</b>	<b>5,988,000</b>
当年度会費	5,880,000	5,704,000	5,512,000
過年度会費	360,000	328,000	336,000
入会金	140,000	188,000	140,000
<b>事業収入</b>	<b>7,394,200</b>	<b>8,081,882</b>	<b>7,712,000</b>
学会誌収入	0	12,960	0
学術集会収入	5,092,200	7,702,922	6,172,000
CTGセミナー	1,550,000	0	0
GDMセミナー	712,000	366,000	1,500,000
講演会セミナー	40,000	0	40,000
<b>雑収入</b>	<b>4,500</b>	<b>127,029</b>	<b>4,500</b>
受取利息	500	23	500
雑収入	0	122,166	0
抄録利用料	4,000	4,840	4,000
<b>収入の部 合計(1)</b>	<b>13,778,700</b>	<b>14,428,911</b>	<b>13,704,500</b>
<b>前年度繰越金(2)</b>	<b>22,025,632</b>	<b>22,025,632</b>	<b>21,518,634</b>
<b>合 計(1)+(2)=(3)</b>	<b>35,804,332</b>	<b>36,454,543</b>	<b>35,223,134</b>

科 目	2019年度予算	2019年度決算	2020年度予算(案)
<b>支出の部</b>			
<b>事業費支出</b>			
編集委員会	1,407,000	951,913	695,000
広報委員会	225,000	120,670	160,000
研究・学術支援委員会	860,000	582,960	970,500
[研究促進部会]	597,000	513,147	687,000
[学術支援部会]	263,000	69,813	283,500
生涯学習支援委員会	1,958,000	771,119	1,370,000
[CTGセミナー部会]	1,258,000	101,390	70,000
[GDMセミナー部会]	700,000	669,729	1,300,000
看護政策検討委員会	508,400	351,182	187,400
高度実践看護師育成支援委員会	383,800	346,426	355,000
総務委員会	115,000	0	115,000
[災害対応部会]	70,000	0	40,000
[将来構想部会]	45,000	0	75,000
学術集会	5,592,200	7,932,056	3,511,440
<b>事業費支出 合計</b>	<b>11,049,400</b>	<b>11,056,326</b>	<b>7,364,340</b>
<b>管理費支出</b>			
総務・渉外・会計	4,440,000	3,879,583	4,241,000
<b>管理費支出 合計</b>	<b>4,440,000</b>	<b>3,879,583</b>	<b>4,241,000</b>
周年記念事業積み立て	150,000	(決算科目としては不使用)	150,000
予備費	200,000	(決算科目としては不使用)	1,700,000
<b>支出の部 合計(4)</b>	<b>15,839,400</b>	<b>14,935,909</b>	<b>13,455,340</b>
<b>当期収支差額(1)-(4)=(5)</b>	<b>▲ 2,060,700</b>	<b>▲ 506,998</b>	<b>249,160</b>
<b>次期繰越差額(3)-(4)=(6)</b>	<b>19,964,932</b>	<b>21,518,634</b>	<b>21,767,794</b>

## 報告事項 4 名誉会員について

名誉会員選考規程に則り理事会にて選考の結果、以下の 6 名を本学会の名誉会員に推戴いたしましたのでご報告いたします。

今關節子、岡部恵子、小松美穂子、末原紀美代、田邊美智子、渡部尚子

(五十音順・敬称略)

## 報告事項 5 第 24 回学術集会会長について

第 24 回学術集会会長は以下のとおり決定いたしましたのでご報告いたします。

佐々木綾子氏（大阪医科大学）

第1号議案 2019年度収支決算・監査報告

貸借対照表

2020年3月31日現在

単位(円)

科 目	金 額			備 考
<b>1 資産の部</b>				
<b>流動資産</b>				
<b>(現金・預金)</b>				
<b>現金</b>	<b>5,930</b>			
会計	0			
CTG	5,930			
<b>当座預金</b>	<b>20,388,048</b>			
郵便振替 (法人口座)	20,388,048			
郵便振替 (旧口座)	0			
<b>普通預金</b>	<b>3,306,340</b>			
ゆうちょ銀行 (会計)	727,998			
ゆうちょ銀行 (編集)	0			
ゆうちょ銀行 (CTG)	2,578,342			
<b>現金・預金 計</b>		<b>23,700,318</b>		
<b>(その他流動資産)</b>				
<b>前払金</b>	<b>500,000</b>			学術集会準備金
<b>未収入金</b>	<b>6,480</b>			学会誌購読料
<b>仮払金</b>	<b>2,501</b>			源泉税過納付分後日相殺予定額
<b>その他流動資産 計</b>		<b>508,981</b>		
<b>流動資産 合計</b>		<b>24,209,299</b>		
<b>固定資産</b>				
<b>(特定資産)</b>				
<b>周年記念事業積立金</b>	<b>150,000</b>			本年度より積立
<b>固定資産 合計</b>		<b>150,000</b>		
<b>資産の部 合計</b>			<b>24,359,299</b>	
<b>2 負債の部</b>				
<b>流動負債</b>				
<b>未払金</b>	<b>328,432</b>			立替金・委託費期末精算
<b>前受金</b>	<b>2,464,000</b>			前受年会費
<b>預り金</b>	<b>10,233</b>			源泉税
<b>仮受金</b>	<b>38,000</b>			セミナー参加費等返金予定額
<b>流動負債 合計</b>		<b>2,840,665</b>		
<b>負債の部 合計</b>			<b>2,840,665</b>	
<b>3 正味財産の部</b>				
<b>正味財産</b>		<b>21,518,634</b>		
(うち、特定資産への充当額)		(150,000)		
(当期正味財産増減額)		(-506,998)		
<b>負債及び正味財産の部 合計</b>			<b>24,359,299</b>	

2019年度正味財産増減計算書(予算対比)

2019年4月1日から2020年3月31日まで

単位(円)

科目	2019年度予算	2019年度決算	差額(予算-決算)	備考
<b>1.経常収益</b>				
<b>会費収入</b>	<b>6,380,000</b>	<b>6,220,000</b>	<b>160,000</b>	
当年度会費	5,880,000	5,704,000	176,000	納入率89%
過年度会費	360,000	328,000	32,000	前年度以前の会費回収分
入会金	140,000	188,000	-48,000	94名分
<b>事業収入</b>	<b>7,394,200</b>	<b>8,081,882</b>	<b>-687,682</b>	
学会誌収入	0	12,960	-12,960	バックナンバー販売
学術集会収入	5,092,200	7,702,922	-2,610,722	第21回学術集会
CTGセミナー	1,550,000	0	1,550,000	開催中止
GDMセミナー	712,000	366,000	346,000	GDMセミナー参加費収入
講演会セミナー	40,000	0	40,000	開催中止
<b>雑収入</b>	<b>4,500</b>	<b>127,029</b>	<b>-122,529</b>	
受取利息	500	23	477	
雑収入	0	122,166	-122,166	研究助成金残金返還含む
抄録利用料	4,000	4,840	-840	
<b>経常収益計</b>	<b>13,778,700</b>	<b>14,428,911</b>	<b>-650,211</b>	
<b>2.経常費用</b>				
<b>事業費支出</b>				
編集委員会	1,407,000	951,913	455,087	
広報委員会	225,000	120,670	104,330	
研究・学術支援委員会	860,000	582,960	277,040	
[研究促進部会]	597,000	513,147	83,853	
[学術支援部会]	263,000	69,813	193,187	講演会セミナー中止
生涯学習支援委員会	1,958,000	771,119	1,186,881	
[CTGセミナー部会]	1,258,000	101,390	1,156,610	CTGセミナー中止
[GDMセミナー部会]	700,000	669,729	30,271	
看護政策検討委員会	508,400	351,182	157,218	
高度実践看護師育成支援委員会	383,800	346,426	37,374	
総務委員会	115,000	0	115,000	
[災害対応部会]	70,000	0	70,000	
[将来構想部会]	45,000	0	45,000	
学術集会経費	5,592,200	7,932,056	-1,416,040	第21回学術集会
<b>事業費支出 合計</b>	<b>11,049,400</b>	<b>11,056,326</b>	<b>-6,926</b>	
<b>管理費支出</b>				
総務・渉外・会計	4,440,000	3,879,583	560,417	
<b>管理費支出 合計</b>	<b>4,440,000</b>	<b>3,879,583</b>	<b>560,417</b>	
<b>経常費用計</b>	<b>15,839,400</b>	<b>14,935,909</b>	<b>903,491</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>-2,060,700</b>	<b>-506,998</b>	<b>-1,553,702</b>	
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>-2,060,700</b>	<b>-506,998</b>		
<b>正味財産期首残高</b>	<b>22,025,632</b>	<b>22,025,632</b>		
<b>正味財産期末残高</b>	<b>19,964,932</b>	<b>21,518,634</b>		

# 監査報告書

一般社団法人 日本母性看護学会  
理事長 鈴木 幸子 殿

2020年5月26日  
一般社団法人 日本母性看護学会

監事 高橋 真理 (高橋 真理)

監事 山本 あい子 (山本 あい子)

当学会の2019年4月1日から2020年3月31日までの2019年度決算報告に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等について監査を行いましたので、以下の通りご報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

理事及び事務局等と意思疎通を図り、理事会その他の重要な会議に出席し、学会諸事業の情報の収集に努め、2020年5月26日、当学会事務局において会計帳簿及びこれに付随する資料について報告・説明を受けるとともに、内容の確認を行いました。

以上の方法によって、当該年度の決算報告に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等について監査いたしました。

## 2. 監査の結果

2019年度決算報告に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等は、当学会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

## 3. 監査意見

委員会、学術集会等の事業運営において予算計画に大きな変動が生じた場合(もしくは、生じる可能性が予見された場合)、適宜、理事会等に報告し、適正な事業運営、予算執行に努めていただきたい。

以上

## 第 2 号議案 定款変更について

本学会が、会の発展に関する事業だけでなく、学会の目的である「母子および女性の健康と家族の福祉に貢献する」ための高度実践看護師育成、診療報酬等の政策検討など、社会貢献に果たす事業を強化してきたことの実情に鑑み、下記のとおり定款を変更する。

(傍線部分は改定部分)

改定案	現行
<p style="text-align: center;">第 1 章総則</p> <p>(目的)</p> <p>第 2 条 当法人は、母性看護学の進歩発展を図り、<u>女性及び母子とその家族の健康と福祉</u>に貢献することを目的とする。</p> <p>2 当法人は、前項の目的を達成するため次の事業を行う。</p> <p>(1) 学術集会、研修会の開催</p> <p>(2) 会誌などの発行</p> <p>(3) 研究活動の推進、助成</p> <p>(4) <u>女性、母子とその家族の健康に貢献する社会活動</u></p> <p>(5) その他当法人の目的を達成するために必要な事業</p>	<p style="text-align: center;">第 1 章総則</p> <p>(目的)</p> <p>第 2 条 当法人は、母性看護学の進歩発展を図り、母子及び女性の健康と家族の福祉に貢献することを目的とする。</p> <p>2 当法人は、前項の目的を達成するため次の事業を行う。</p> <p>(1) 学術集会、研修会の開催</p> <p>(2) 会誌などの発行</p> <p>(3) 研究活動の推進、助成</p> <p>(4) その他当法人の目的を達成するために必要な事業</p>
<p style="text-align: center;">第 9 章 補 則</p> <p>(附 則)</p> <p>1 平成 2 5 年 4 月 1 日 施行 (中 略)</p> <p>4 令和元年 6 月 1 5 日 第 28 条第 1 項改定</p> <p>5 <u>令和 2 年 6 月 3 0 日 第 2 条改定</u></p>	<p style="text-align: center;">第 9 章 補 則</p> <p>(附 則)</p> <p>1 平成 2 5 年 4 月 1 日 施行 (中 略)</p> <p>4 令和元年 6 月 1 5 日 第 28 条第 1 項改定</p>